

# ひろば大代

NO. 198

大代公民館

## 年頭のご挨拶

公民館長 渡 吉正



謹んで新年のお祝詞を申し上げます。  
 町内の皆様、東京石見高山会、関西高山会々員の皆様にはお揃いで新しい年をお迎えの事とお慶び申し上げます。昨年はお正月から神戸を中心とした「関西大地震」に遭遇され被災された方々は如何お過ごしでしょうかお伺い致します。

大代町もこの一年は種々な出来ごとがありました。中でも三月の「大代中学校の閉校」の憂き目はやりきれない思いでしたが、四月から中学生はバス通で、水上町の第三中学校へ元気に通学しております。

八月のお盆十五日には「第十回記念都市交流会」を盛大に行うことが出来

ました。行事では戦後五十年の節目として「戦没者の追悼会」が献花方式でしめやかに行われ、感慨一入のものがありません。「どんつく大行進」はご帰郷の有志が参加での大田植囃子が公民館の庭で大江高山を背景に一大ページェントが展開され、実にすばらしいものでした。

また年末には大家城主（藤原朝臣兼公）の菩提寺になる四日市宗通寺（曹洞宗）の本堂が皆様方のご寄付によって立派に再建されました。次期ご帰郷には是非ご覧下さい。

本年は昨年までの「ひろば大代」に掲載しました「戦時体験記」を一冊にまとめ三月までには出版したいと思っております。そして懸案の「ふれあいコミュニティセンター」の青写真を早急に作って、早い時期に建設にかかってもらいたいものと思っております。

今年こそは景気が回復して、平和で穏やかな暮らしが送られるようお願いますと共に皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。

（追伸）今年には公民館玄関前に門松を立ててもらいました。

## 新年のご挨拶

八反田 高村 貢



皆さん明けましておめでとようございます。

昨年は国内では、阪神大震災で始まって地下鉄サリン、そしてオウム事件と様々な出来ごとがありました。

大代町では中学校の統合、そして大代小学校新築のグラウンド予定地に大量の遺跡が出土して驚いた年でした。

さて今年はいよいよ通学バスの川上線乗り入れ開始と、大代小学校々舎の建設が始まります。また皆さんのご協力を仰ぎながら、コミュニティセンター建設にも取り組んで行かなければなりません。

今年もいろいろ諸問題をかかえた一年になると思いますが皆さんのご協力をお願い致します。

そして皆様にとって、今年一年よい年であります様に願って新年の挨拶と致します。

お盆掃省三題 (その二)  
「夜の訪問者」

東京石見高山会 松野 広

久し振りの掃省、お盆に旧友松島賢蔵さん一家のご厚意に甘え八日間お世話になった時の事。

主人賢蔵さん「早よう有縁で太田さんに来てもらえーや」

奥さん「もしもし太田さんですか。

久具の松島だがな、今猪が前の田に出てるけ早よう撃ちい来ちゃんさいや  
太田さん「わしもあちこち毎晩舞いでようにくたぶれとるけ、今夜はこらえちゃんさいや」

奥さん「まあ何とつまらん事かいなあ。太鼓ばかり打たんで目の前の猪を撃ちちゃんさりやあええのになあ」

太田さん「エンマさんでも盆は地獄の釜を休むんでなあ。それに鉄砲は日の出から日の入りまでが規則でなあ」

時計は十一時を回っていた。「ドカーン」という物凄い音、田の畦を一米位の高さで囲ってあるトタンの防護壁を山から下りて来た勢いで突き破って入って来た。懐中電灯に浮かぶ親子二

頭、ざわざわと出穂期の稲穂を口でしごいて甘い汁を吸っては殻を吐く。

早速棒切れでトタンを叩いて猪を追い払うのだが、敵もさるもの今度は隣の己作さんの田へ逃げ込んだ。すぐ己作さんに有縁で連絡、己作さん夫妻が

やって来て、右へ左へ追い回しやつと山へ追い返した。

しかしそれも束の間、一時間もするとまた同じように下りて来た。とうとう十四日の晩は三回も出没した。つまりかねて己作さんは畦道で稲わらを燃やし煙で山へ追いやった。こんな攻防が連夜におよぶ。それだけではない、朝七時頃眠たい目を覚ますと今度は選手交替呼の間、尾根伝いに猿が賑やかに下りて来た。

近年稲作は、農薬や農機具の発達で昔とは随分楽になったと思っていたがいま新たにこんな苦勞が起きていようとは想像もしなかった。

十月中旬、賢蔵さんから「あの猪の田んぼで穫れた新米だよ」と言って宅配便が届いた。そしてあの猪は笠岡さんがワナを掛けて見事に御用！そこへ太田さんと呼んで止めの一

発と相成った由「夜の訪問者」騒動も一件落着。

多分太田さんは今頃、太鼓打ちに鉄砲撃ち、もう一つ舌鼓を打って深みゆく大代の秋に満喫しておられることでしょう。

稲穂喰う毎夜の被害イノシシの追うすべもなし悩みあらたに

## 「戦没者追悼会」(その三)

観測史上まれにみる猛暑日本列島、終戦記念日の八月十五日、会場となる大代公民館運動場の右手奥に建立された戦没者慰霊碑、その前には朝から関係者が汗をにじませお集まりであった。さきの太平洋戦争で尊い犠牲となられた戦没者に戦後五十年を経た今、その節目として英霊にお花を手向け、ご冥福をお祈りすることはとても意義深いことであった。(状況割愛)

セレモニー中私の脳裏には終戦前後のことがいろ／＼とかけ巡った。

通称大宮で、召集令状を受け出征兵士となる方の武運長久を祈っての壮行式。それが終わると村境への井田横道

まで、または八代二又いでまで高等科二年の上級生（現中二）を先頭に、笛や太鼓の楽隊で、

「天に代わりて不義を討つ忠勇無双の我が兵は歡呼の聲に送られて……」と声を張り上げ、日の丸の小旗を振って見送ったこと。

また戦後では、昭和二十一年十一月校庭に霜をおく寒い朝のことだった。奉安殿の前に、すでに復員されていた木村頭三氏ほか十数人の関係者が重苦しい面持ちでお集まりであった。やがて奉安殿が開けられ中から、木銃、剣銃、竹槍などが運び出され、立て掛けるように積み上げられると円陣をつくり石油をかけ火が点けられた。

在郷軍人も婦人も子供もたった一年前まで銃後の守りとして総決起して戦ったのだ。それがいま目の前で、

「海行かば水漬くかばね……」の合唱とともにパチパチと音をたて、冷たい空気を破って燃え崩れていくではないか。子供心にも何とも虚しい寂しさを覚えた。

あれから五十年、遠い日の光景がたったこの間のように甦る。私も末席よ

り英靈眠る慰靈碑に、

「靈よ安かれ」と静かに手を合わせた。

白たすき斜めに掛けて勇み立つ

彼の日の顔をここに弔う

俳句 あすなる句会

穏やかな日々を惜しめり去年今年

初鶏や餌食百羽賑やかに

老いてなほ夢の多かり福寿草

初鶏巻き舌ぎみに声放つ

病床に憂ふ友あり去年今年

幼な等に渡す幸お年玉

折鶴の奉書に包むお年玉

六十の手習い始むお書初

下市 渡 あや子

柿田 横手いちえ

梅 花田 時子

数の子の支度の子等を憶いけり

五十路すぎ雑煮の味もまた新

下市 今田 文子

鎮落とし農具に祀る鏡餅

手鏡に残る指跡初化粧

梅 柿丸 寿枝

還暦を友と語りて初笑い

特急の如しにゆきて去年今年

八反田 森 信子

\*\*\*\*\*

\* 一月の行事予定 \*

◆7日(日) 消防出初式

◆8日(月) 編集委員会

◆14日(日) 福祉弁当

◆17日(水) J A 健康診断

◆23日(火) 連合自治会

書初め展示 17日、31日

歳末助け合い運動による

「愛の袋」集計配分報告！

大代地区社会福祉協議会

年末の「愛の袋」運動には町内の皆さんこそって温かいご理解とご協力を

頂き本当にありがとうございます。

左記の通りご報告申し上げます。

現金 一〇四、九五円

お寄せ頂きましたお金は町内の恵まれない方々へ配分させて頂きました。

★—★ おしらせ ★—★

◆社協大代支部から

弓久 大場清志様より

香典返しに替えて金一封の御厚志を

頂きました。厚く御礼申し上げます。

◆社協大代支部から

